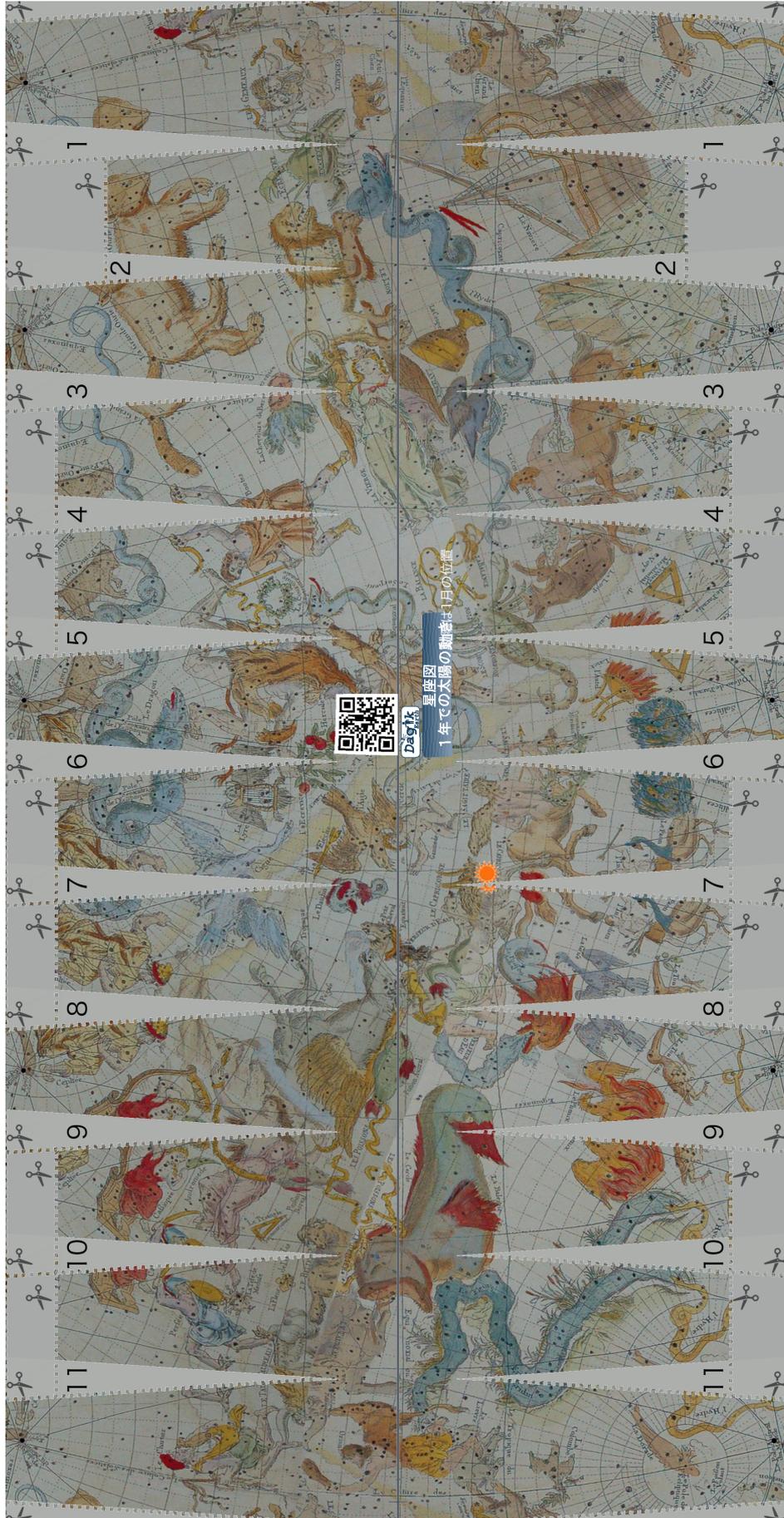


<http://earth.dagik.org>

輪っかにして台に。



フランスの地理学者・天文学者  
フィリップ・ド・ラ・イールが  
1705年に作成したPlanisphere  
Celeste Meridional (南半球) et  
Septentrional (北半球) を合成し  
て球体に加工したもの。

太陽は1月の位置。

作成：Dagik Team

画像提供：千葉市立郷土博物館

作成協力：府中市郷土の森博物館

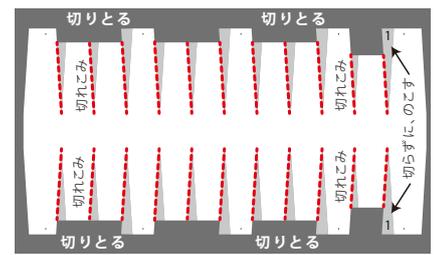
コンテンツ説明

<http://dagik.org/P/21/>

このファイルを拡大・縮小を  
せずに印刷すると**直径7.5cm**  
の球に貼れるサイズになります。

### 手作り地球儀の作り方

このシートの点線を切って、  
発泡スチロールなどの球に貼って、  
手作りの地球儀を作りましょう。



点線で切り取り、  
部分1から貼っていきます。  
画像の中央の線(赤道)を、  
球の境目に合わせるように  
します。



次に、部分2を部分1の画像と  
合わせながら重ねて貼ります。  
シワは手で押さえてください。  
その後、順番に最後まで貼っ  
ていきましょう。



貼れました。  
ラベルシートの場合は、最後  
にシワをスプーンの後ろのよ  
うな、硬いなめらかなもので  
すると、きれいになります。

※画像は重なるようになっていきますので、点線の内側に沿って切ると、すきまなく重なります。